

有限会社ダイキ開発

2019 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2019年9月1日 ~ 2020年8月31日)



発行日: 2020年10月1日

I. ごあいさつ

有限会社ダイキ開発は、平成4年の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。ますます深刻化する地球温暖化や地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組みます。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、土木工事、石工事、ほ装工事、塗装工事、解体工事、とび・土工工事、鋼構造物工事、しゅんせつ工事、水道施設工事、測量業の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。又、環境経営の継続的改善に努めます。

<環境保全への行動指針>

1. 省エネ・省資源の推進
 - ・節電、節水、エコドライブ、エコカーの活用による省エネ・省資源を推進し、事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制に努める。
2. 循環型社会への貢献
 - ・廃棄物排出量の削減及び再資源化、環境に配慮した商品の購入の推進に取り組み循環型社会の形成に貢献する。
3. 社会との協調
 - ・環境経営レポート等を積極的に公開し、社会とのコミュニケーション向上を高める。
4. 環境活動の評価・見直し
 - ・環境データの相互提供・交換を行い、活動の評価と見直しを行う。
5. 環境に配慮した施工技術の開発と各先への提案を推進します。
 - ・コンクリート、建設汚泥のリサイクル、工事騒音の低減に努める。
6. 地域貢献活動に努めます。
 - ・地域の防災・災害支援、また清掃等定期的に参加する。
7. 本方針を全従業員に周知し実行に努めます。

制定日：2015年5月25日

改定日：2018年10月10日

改定日：2020年10月10日

代表取締役社長 大谷 みゆき

II. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

有限会社ダイキ開発

代表取締役社長 大谷 みゆき

(2) 所在地

本 社 兵庫県宍粟市山崎町今宿234番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 高瀬 正樹

TEL : 0790-63-0657

担当者 久保 郁子

FAX : 0790-62-2046

E-Mail : daikikaihatsu@cotton.ocn.ne.jp

HP : <http://daikikaihatu.com/>

(4) 事業内容

土木工事業、石工事業、ほ装工事業、塗装工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業、測量業

(5) 事業の規模

売上高 55,023 万円 (2019年度)

従業員 17 名

延べ床面積 143 ㎡

(6) 事業年度

9 月 1 日 ~ 8 月 31 日

III. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 有限会社ダイキ開発

対象事業所： 本 社

活動： 土木工事業、石工事業、ほ装工事業、塗装工事業、とび・土工工事業、鋼構造物工事業

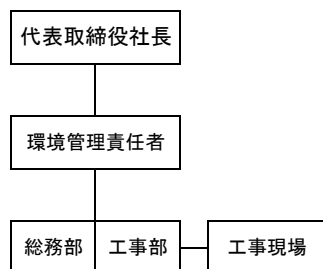
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業、測量業

IV. 事業や製品(商品)の紹介



V. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2017年4月11日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、総務部の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
総務部	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



VI. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2017年	2018年	2019年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	27,820	27,820	24,295
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	k g	238	238	211
産業廃棄物排出量	t	2,265	2,265	2,928
総排水量	m ³	10	10	12

※二酸化炭素排出係数 0.493 kg-CO₂/kWh 関西電力の2016年度の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

※化学物質の使用はありません

VII. 環境経営目標及びその実績

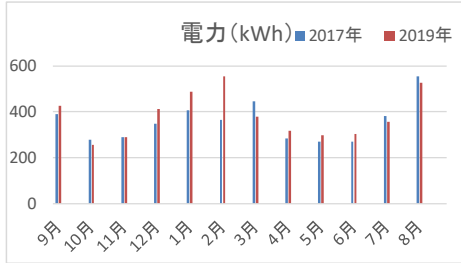
項目	年度	基準値 (基準年)	2019年		評価	2020年	2021年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	2,113	2,071	2,270.3	×	2,028	2,007
	基準年度比	2017年	98%	111%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	25,707	25,193	22,024.4	○	24,936	24,679
	基準年度比	2017年	98%	86%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	27,820	27,264	24,295	○	26,965	26,686
一般廃棄物の削減	kg	238	221	211	○	221	214
	基準年度比	2017年	93%	89%		93%	90%
産業廃棄物の削減	t	2,265	2,039	2,928	×	1,812	1,586
	基準年度比	2017年	90%	129%		80%	70%
水道水の削減	m ³	10	10	12	×	9	9
	基準年度比	2017年	95%	120%		92%	90%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)						

Ⅷ. 環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

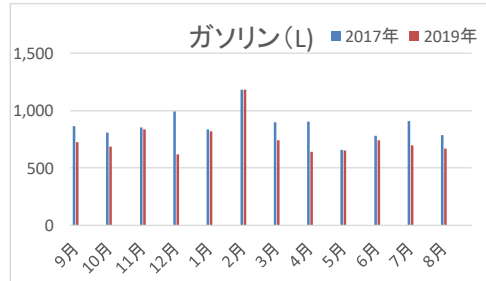
取組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	昼休み時のこまめな消灯や空調設備が更新され使用量が削減出来たが目標未達となった。 今後も目標で挙げた項目を徹底していく。
・不要照明の消灯	○	
・サーキュレーターの設定	○	
・省エネタイプ(エネルギー効率の高い)エアコンへ更新	○	



取組紹介欄

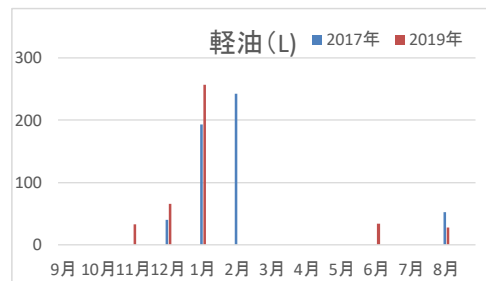
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	390	279	290	348	406	365	444	284	271	271	381	555
2019年	426	257	289	413	486	555	379	317	298	302	357	526

取組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	エコドライブを意識しているため燃費が良くなった。 引き続きルールの徹底に努める。
・アイドリングストップ	○	
・急加速・急停車の抑制	○	
・空気圧・オイル等の点検	○	
・移動コースの効率化	○	



取組紹介欄

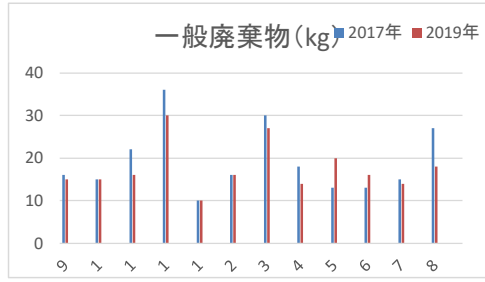
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	864	811	856	994	838	1,183	897	902	657	779	908	787
2019年	727	687	836	617	819	1,184	740	642	652	743	699	668



取組紹介欄

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	0	0	0	40	193	242	0	0	0	0	0	53
2019年	0	0	33	66	257	0	0	0	0	34	0	28

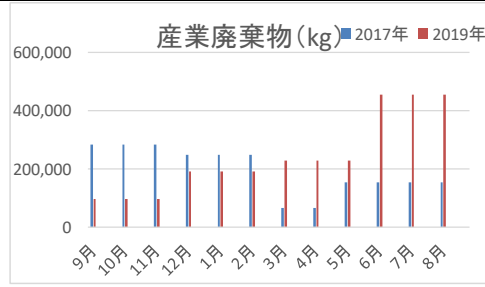
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	画面プレビュー確認作業及びデータ管理により、ミスコピーや無駄な印刷を削減できた。次年度も左記活動を継続する。
・分別の徹底	○	
・ミスコピーの防止	○	
・裏紙の活用	○	



取組紹介欄

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	16	15	22	36	10	16	30	18	13	13	15	27
2019年	15	15	16	30	10	16	27	14	20	16	14	18

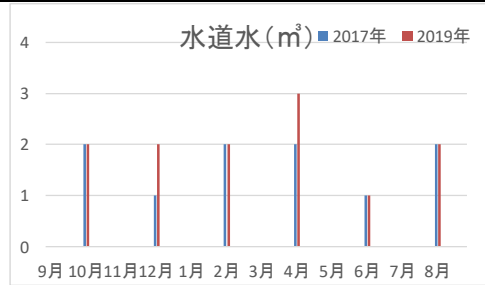
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	計画した活動を実行できた。次年度は運搬を委託する収集運搬業者の車輛や運搬容器、処分を委託する中間処理業者の処理施設や保管場所の再確認を行う。
・分別による最終処分量の削減	○	
・仮設資材の再利用の推進	○	



取組紹介欄

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	284,533	284,533	284,534	249,866	249,866	249,868	66,700	66,700	154,000	154,000	154,000	154,000
2019年	98,435	98,435	98,436	192,265	192,262	192,266	229,731	229,731	229,732	455,722	455,722	455,722

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	蛇口はこまめに閉め、出しっぱなしをしない。意識を持つことで節水につながった。次年度も左記活動を継続する。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
・清掃時・手洗い時の節水	○	



取組紹介欄

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2017年	0	2	0	1	0	2	0	2	0	1	0	2
2019年	0	2	0	2	0	2	0	3	0	1	0	2

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・コンクリート・建設汚泥のリサイクル	○	計画した活動を略実行できた。次年度も左記活動を継続する。
・工事騒音の低減	○	

取組紹介欄

IX. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守評価
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	遵守
建設リサイクル法	分別解体等及び再資源化等の実施義務・報告と記録の保存	遵守
騒音規制法	特定施設の事前届出、地域別騒音基準の順守	遵守
振動規制法	特定施設の事前届出、地域別騒音基準の順守	遵守
水質汚濁法	油類・有害物質の保管	遵守
NOx・PM法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	遵守
グリーン購入法	出来る限り環境物品等を選択する	遵守
消防法（危険物）	危険物の保管	遵守
フロン排出抑制法	業務用空調機の定期点検の実施、記録、記録の保管	遵守
顧客要求事項	品質管理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

X. 緊急事態訓練

緊急事態の想定：火災	
■実施日： 2020/3/20	■実施場所
■参加者： 12名	■実施内容： ・通報訓練、避難訓練
■評価： 社員同士のコミュニケーションにもなり良い雰囲気でした。	手順書の変更の必要 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 現場での火災を想定した訓練を行いました。緊急連絡先・緊急事態時の優先順位の再確認を手順書を確認しながら取り組みました。 また、猛暑が予想される夏に向けて、熱中症の応急処置方法・予防対策等も合わせて再確認。 最後に、体力維持・腰痛防止の為のスクワット体操を推奨しました。	

XI. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2020年9月29日

<p>【前回の指示への取組結果】 当社は、より良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、エコアクション21に取り組んできました。 取り組み開始より、少しずつではありますが活動の重要性の理解が深まっています。 3Rなどの無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着して来ているので、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要があります。 コロナウィルスに振り回される厳しい経済状況の中、目標を設定して実行し、目標を達成して来たことは、非常に評価出来ると思います。</p>

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり